

☆キャリア教育通信☆



須崎のキャリア教育^{プラス}



☆実感をともなう理解 ☆知的好奇心を高める授業 ☆将来とつながる授業

須崎市キャリア教育推進員の橋村です。夏季休業中も、各校や各中学校区でたくさんの研修会が行われました。私もいくつかの校内研や研修会に参加させていただき、貴重な時間を共有させていただきました。行事が多くて忙しい2学期がスタートしますが、また先生方と一緒に学んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

★ キャリア教育視点を授業に入れるには『美術科編』

さて、前は算数・数学を中心にお話ししましたが、今回は私の専門分野の『美術科』で、キャリア教育視点での授業にチャレンジをしたお話をさせていただきます。

美術にキャリア教育?? 机上の空論にならないように、中学校の美術の先生とタッグを組んで、実際に中学1年生の授業をしていただきながら、2人であれこれ相談し、進めていきました。

★ 『ピクトグラム』の授業で、実感をともなった理解へ



ピクトグラムって何?って感じですが、非常口やトイレのマークになっているヒト型のアレです。ヒト型に限らず、目的を簡単な図形で表したマークのことをピクトグラムと言います。

授業をしていただく学校では、今年度からキャリア教育とユニバーサルデザインを授業の2本柱にしていることから、誰にでも分かるマーク(=ピクトグラム)の学習を取り入れることにしました。



また、特活や総合でのユニバーサルデザインの学習ともリンクさせ、多面的にユニバーサルデザインの理解が進むようにしました。

★ 『キャリア教育視点』で、ゴールを決める

身近にたくさんのピクトグラムがあることから、ピクトグラムの学習と生徒たちの生活とを繋げることは考えやすいですが、最終的に作品として何を作らせるかとなると、なかなか難しく、

- ① 掲示して実際に使ってもらえるもの
- ② 誰にでも分かるもの
- ③ 今までに作られてないもので、中学生でも考えやすいもの

この3点を重点としてあれこれ考える中で、『小学校1・2年の担任の先生が、授業で使えるピクトグラム』というアイデアが、授業者の先生から出されました。

- ① 授業で実際に使ってもらえるものを
- ② 小学1・2年生が見ても、すぐに分かるように
- ③ 新しいピクトグラムを自分たちで考える

重点的に考えていた3つのことに、ぴったりと当てはまります。

ピクトグラムを知る⇒身近なピクトグラムを探す⇒ピクトグラムを作る練習をする⇒小学校の先生に聞き取りに行く⇒ピクトグラムを考える⇒制作する⇒評価し合う

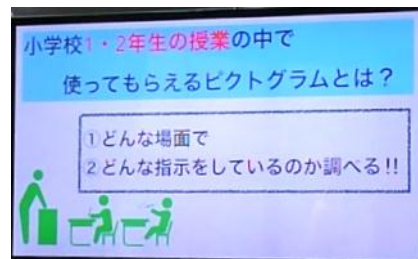
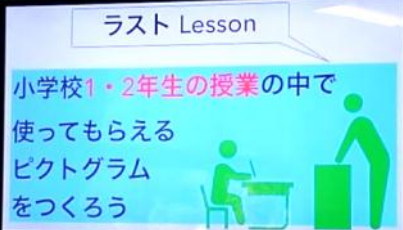
こうしてゴールが定まると、授業の流れも自然とできあがってきます。

『身近にあるもの』『実際に使えるもの』を授業に取り入れることで、「絵を描かされる」のではなく、生徒たちが主体的に取り組める授業にすることができたと思います。

★ 教育機器も活用して、興味をもたせる

授業をされた先生は、iPadをテレビにつなぎ、画像や文字を次々と映し出し、生徒の興味を引き付け、やる気を引き出していました。

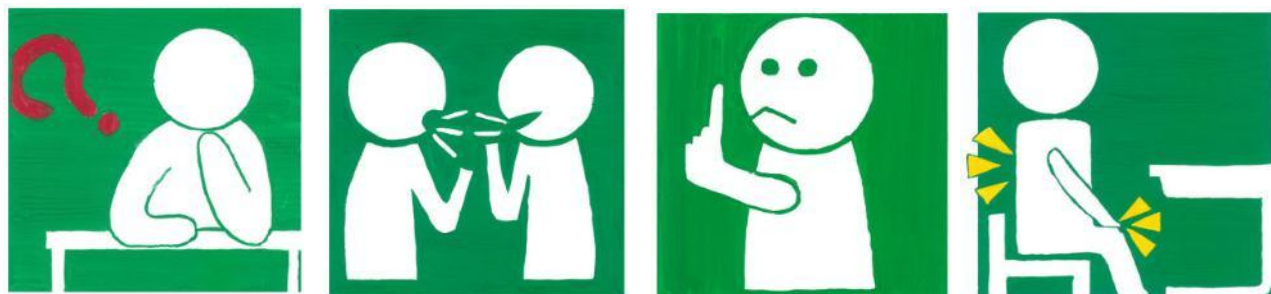
「ICTは難しい」と思っている先生もいらっしゃると思いますが、「難しいモノは売れない」ので、「簡単に使いやすく」するためにメーカーがしのぎを削っていて、昨日 難しかったものが、今日 簡単になりました。「情報機器を扱う」ことも、子どもたちの将来に必要な技能の1つです。機械が苦手な先生が、試行錯誤しながら授業で活用しようとしている姿から、子どもたちはいろんなことを学ぶと思います。



★ 完成！何を表しているでしょうか？

今回の授業は、レタリング(文字のデザイン)の授業と合わせて、9時間の単元構成で実施されました。少しか紹介できなくて残念ですが、1時間毎に工夫がこらされて、とても楽しい授業でした。

さて、仕上がった生徒作品の紹介です。何を表したピクトグラムなのか、考えてみてくださいね。



★ 今回の授業と、基礎的汎用的能力との関係

『人間関係形成・社会形成能力』としては、グループ学習の中でコミュニケーションスキルを高めるだけでなく、ピクトグラムの特性から、相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとする「他者に働きかける力」も育成されていると思います。

また、「小学1・2年生に分かるように」などの課題を解決しようと、『課題対応能力』が培われ、身近な課題から制作することで、学ぶことと自分の生活や将来と結びつけながら、『キャリアプランニング能力』を育てるにも繋がっていくと考えています。

★ 学ぶことで、街が美術館に！！

ともあれ、今回の授業を受けた生徒たちは、ピクトグラムに興味津々！今後、街を歩いている時、ピクトグラムが目にとまり、「これは分かりやすい！」とか「これはちょっと分かりにくい」「私ならこうする」などと思うことでしょう。そんな街歩きができることは、とても楽しく素晴らしいことだと思います。

目的をもたずに習ったものは、ただの知識で終わってしまいますが、目的意識をもって学んだことは知恵となり、一生の宝となることでしょう。キャリア教育の視点を授業に入れていくことの良さは、そういうところにもあるのではないのでしょうか。

【ピクトグラムの答え】・1人で考えよう ・ペアで考えよう ・静かに！（注目！） ・手をひざに(姿勢を正して)

生活の中から

実感をともなった理解

生活の中へ